

# 平成30年度 事業報告書

平成30年 6月 1日から 令和元年 5月31日まで

特定非営利活動法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン

## 1 事業の成果

ボルネオ緑の回廊をつくる事業では前年度から獲得を進めていた2区画の土地について正式に獲得できたものの今年度は新規案件がなく情報収集に留まった。野生動物の保護・保全を行う事業ではBCTJの理念に共感する国内の6動物園と提携しボルネオでの野生動物保全活動に共に取り組むことになったほか、サバ州政府野生生物局へ支援を継続し保護ゾウのエサ供給支援・ミルク支援を行った。また大型哺乳類生態調査プロジェクトは終了し、サイチョウ保全プロジェクトを継続して行っている。生物多様性保全に関する普及啓発活動事業ではイベントへの出展やシンポジウムでの登壇、講演会やワークショップを積極的に展開した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
ボルネオ緑の回廊をつくる事業	日本では現地での土地獲得を行うための資金調達活動、現地では提携NGOの協力を得て熱帯雨林を所有する現地住民からの土地購入を行う	通年	ボルネオ島サバ州キナバタンガン川下～中流域	6名	熱帯雨林の環境保護活動に関心の高いBCTJ会員（290人）	9,406
野生動物の保護、保全を行う事業	ボルネオゾウ保護施設で飼育されているゾウのエサ支援の継続およびスタッフ人件費の支援。また、他の施設で飼育されている仔ゾウのエサ（粉ミルク）の支援	通年	ボルネオ島サバ州キナバタンガン川流域第8野生動物保護区	3名	サバ州野生生物局（300名）	7,815
	セガマ川流域タビン地区における野生生物生態調査。保護区内の熱帯雨林に自動撮影カメラを仕掛けることで保護区内に生息する野生動物の観察・調査を行う	平成29年4月より継続	ボルネオ島サバ州セガマ川下流域タビン地区	3名	熱帯雨林の環境保護活動に関心の高いBCTJ会員（290人）	
	キナバタンガン川におけるサイチョウ類の保全活動。現地で活動を続ける研究者と協力し、人口巣を設置することによる繁殖活動の促進およびサイチョウの生態調査を行う	平成30年4月より継続中	ボルネオ島サバ州北東部キナバタンガン川下流域	3名	熱帯雨林の環境保護活動に関心の高いBCTJ会員（290人）	
生物多様性保全に関する普及啓発事業	日本で講演会、セミナー、イベント出展など実施。理事や識者による自然環境保護・生物多様性保全活動における環境教育/啓発活動及び資料作成	通年	日本国内	10名	熱帯雨林の環境保護活動に関心の高い一般市民（不特定多数）	4,293